

【校訓】

優しく 正しく 逞しく

八代市立第四中学校だより

令和8年6月

(文責) 校長 前田 博治

【学校教育目標】

「夢と志をもち、自ら判断し行動できる、逞しい生徒の育成」  
～互いに認め支え合い、安心して笑顔で過ごせる学校をめざして～

## 「生徒総会」

～自分たちの手で、よりよい学校をつくる～



5月28日(木)、生徒総会が開催されました。生徒総会は、生徒一人一人が学校生活をよりよくするために考え、意見を出し合い、自分たちの学校づくりに主体的に参加する大切な場です。総会に先立ち、私は生徒の皆さんに次のような話をしました。

学校には「言われて動く人」「周りを見て動く人」「自分から動ける人」がいる。生徒総会には、「自分たちでこの学校をよりよくしていくんだ」という意識

をもって参加してほしい。学校は誰かにつくってもらうものではなく、自分たちの力でつくっていくものです。そのような思いをもって、生徒たちは真剣に総会に臨んでくれました。

今年度の生徒会では、めざす学校像として

「**昨年を超える！ 笑顔があふれ個性輝く学校**」を掲げています。

また、生徒会テーマは「**ひゃっかりょうらん** **百花繚乱～咲きほこれ個性の火花** **スパーク** **満開の笑顔**～」です。このテーマには、一人一人の個性を大切に、それぞれの花を咲かせながら、笑顔で学校生活を送ってほしいという願いが込められています。さらに、サブテーマにある「スパーク」には「きっかけ」という意味があります。昨年度までの取組をきっかけとして、昨年を超え、新たな挑戦を生み出し、さらに魅力ある学校をつくっていききたいという生徒会の思いが伝わってきました。

議事1では、生徒会執行部や各専門委員会から年間活動計画の提案がありました。今年度は従来の活動に加え、「**New プロジェクト**」として新しい取組も計画されており、学校生活をより充実させようとする意欲が感じられました。

議事2では、改善点について話し合いました。特に授業中の態度について活発な意見交換が行われました。内職や居眠り、忘れ物など、自分たちの現状を率直に見つめ直し、改善に向けて取り組んでいくことを全校で確認することができました。

今回の生徒総会では、学校よさを認めるだけでなく、課題にも真剣に向き合う姿が見られました。自分たちの学校を自分たちの力でよりよくしていこうとする姿勢は、大変頼もしく感じられました。

一人一人が「言われて動く人」から「自分から動ける人」へと成長し、生徒会テーマにあるように、それぞれの個性が輝き、笑顔あふれる学校をみんなの力でつくり上げていくことを期待しています。